

学校教育自己診断の結果と分析〔平成 24 年 12 月実施分〕

【学習指導等】

- ・本校の教育課程に関する項目について、生徒・保護者・教員ともに高い肯定率であることから、総合学科としての学校経営は軌道に乗っている。
- ・中期的目標「生徒にわかりやすい一貫した指導スタイルの確立」について、生徒が授業を理解できるという肯定率は 63%であるにもかかわらず、授業が楽しいという肯定率は 44%である。教員の教材の精選・工夫を行っているという肯定率は 93%に達し、教員のその他の授業に関する項目についても全体的に肯定率が高いが、年間の学習指導計画の検討について良く話し合っているという項目の肯定率のみ 35%と低い。これらの差を生じる要因の精査を行い、授業改善へとつなげる必要がある。

【生徒指導等】

- ・生活指導に関する項目について、保護者・教員の肯定率は概ね75%以上と高く、学校評議会でも高く評価されているが、生徒は37%と低い。また生徒会活動への関心についても肯定率が23%と低い。生徒の自主性と自覚を促す努力が必要である。
- ・進路指導に関する項目については、生徒・保護者・教員ともに肯定率は高く、本校が一体となった指導や取組は成功している。

【学校運営】

- ・研修・研究成果の共有の機会についての肯定率が36%と低い。校内の教員研修等の活性化を図りたい。
- ・校長のリーダーシップや教職員の意見の反映、会議等の有効性に対する肯定率は概ね 75%と高い。校長のリーダーシップのもと、教職員の資質向上を図り、円滑な学校運営と教育力の向上をめざしたい。